



令和2年12月定例会

第137号

議会だより



佐々町役場周辺（令和3年1月4日撮影）

◆ 目次 ◆

- 11月臨時会・12月定例会で審議したこと …………… 2～3
- 常任委員会・特別委員会報告 …………… 4～5
- 臨時会・定例会 賛否表 …………… 6
- 一般質問 7人が町政を問う …………… 7～14
- 要望活動・議会日誌 …………… 15
- ご質問に答えて・編集後記 …………… 16

佐々町議会HP
QRコード



廃棄物処理関連の条例改正 ほか3件の条例改正等を 国保税引上げ改正条例を

可決

否決

11月臨時会・
12月定例会で
審議したこと

11月臨時会は11月17日の1日、12月定例会が12月15日から17日の3日間の会期で開催されました。11月臨時会では、職員賞与を減額する条例の一部改正、一般会計補正予算(6号)が可決されました。12月定例会では、令和2年度一般会計補正予算と特別会計補正予算の7件すべてが可決されました。一方、条例改正等については3件を可決、1件を否決としました。また、名誉町民表彰について同意しました。

可決された条例の主な内容

否決された条例の内容と賛否の討論内容

○職員の給与に関する
条例の一部改正

人事院勧告の内容に準じて、職員及び特別職の期末手当をそれぞれ0・05か月分減額改定するものです。

○道路認定変更に関する
件

県道佐々鹿町江迎線の改良に伴い、町道志方線の起点を変更します。

○廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

リサイクル用ごみ袋の小サイズ新設に伴い、料金を1枚20円に設定するものです。また電池の回収ボックスも設置します。

○国民健康保険税条例
(減免規定改正)

地方税法施行令の改正に伴う個人所得課税の見直しを踏まえて国保税軽減基準額を見直し、不利益が生じないように改正します。

○国民健康保険税条例
(国保税引上げ改定)

国民健康保険が県単位化となったもとで、今回、令和3年度から5年度まで、3年間の納付金の見込額が示された。

反対討論

①基金を1億5000万円積んできた。新型コロナの下で収入が激減している中で、基金を活用して、現状のままとし、期間の猶予を与えるべきだ。

賛成討論

私も過度の負担を強いるような税率引き上げは望むものではない。新型コロナの影響で生活が厳しい中、税率を上げるべきではないと言ふことは分かるが、今回改正をしないと毎年5000万円程度の赤字となり、国保財政が立ちゆかなくなるといふ厳しい状況だ。今回の改定は、苦渋の決断であり、やむを得ないと考え賛成する。

一方、被保険者は年々減少する見込みであり、毎年赤字が続く見込みとなった。この収支悪化に対応するため、国保税率の引き上げ改定を行うもの。引き上げ率は、5・3%〜15・1%、一人あたり年平均1万6520円となる。

②そもそも高すぎる国保税を消費税・コロナなど生活がどん底となっている中で値上げはできない。

③ほとんどの人がコロナ下で所得が下がる中で、均等割・平等割は据置きとするなど、もう少し議論をさせて欲しい。

補正予算

令和2年度

可決

一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出それぞれ 6953 万円減額し
予算総額 95 億 8346 万円となる

一般会計補正の主なもの

(歳入)		(歳出)	
・個人町民税	現年度課税分 15,000千円	・議会費	△ 2,452千円
・法人町民税	現年度課税分 △ 14,000千円	・児童福祉施設費	24,091千円
・固定資産税	現年度課税分 △ 9,500千円	・農業体験施設管理費	
・軽自動車税	現年度課税分 1,600千円	青空広場横トイレ改修工事	5,000千円
・国庫負担金		・消防施設費	
児童福祉費負担金	34,471千円	第4分団消防詰所建替・解体工事費	36,800千円
幼稚園費負担金	△ 2,831千円	・健康増進事業費	
公共土木施設		検診等業務委託料	△ 12,822千円
災害復旧費負担金	△ 5,923千円	・農業振興費	
・国庫補助金		チャレンジ園芸1000億推進事業費補助金	△ 10,285千円
住宅費補助金	△ 6,429千円	・社会教育費	
・県支出金	△ 15,507千円	芸術文化事業費	△ 3,534千円
・基金繰入金	△ 47,616千円	社会教育振興事業費	△ 1,996千円
・諸収入		・保健体育関連諸費	△ 7,289千円
過年度収入	△ 40,404千円		
・町債			
消防債	31,900千円		

令和2年度各会計の補正予算

区 分	今回の補正金額	補正後の金額	
一般会計補正予算(第7号)	△6953万円	95億8346万円	
国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	△128万円	14億4908万円	
介護保険特別会計補正予算(第2号) 保険事業勘定	530万円	12億7244万円	
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	738万円	1億6601万円	
国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)	△22万円	974万円	
水道事業会計補正予算(第3号)	収益的収支	△153万円	3億7190万円
	資本的収支	△1442万円	3億8290万円
公共下水道事業会計補正予算(第3号)	収益的収支	△264万円	8億5942万円

常任委員会報告

総務厚生委員会

所管事務調査

11月20日（金）

1. 佐々町国民健康保険

税条例について

県の推計によると、佐々町の事業費納付金はおおむね横ばいから若干増という形、医療費と保険給付費は両方とも横ばいの状況にあり、一人当たり医療費の順位は、県内で各年度18番目から21番目という低い実績になっている。

国保財政については、単年度収支は、令和3年度、4年度、5年度ともにマイナス5000万円ほどになる見込みで、基金を取崩しても2400万円程度の不足が生じる見込みになっており、こ

れを補うために必要な保険税収納額が、各年度で2億6000万円ほど必要となってくるということです。

県内市町はそれぞれに税率改正の検討を行っており、佐々町においても財政調整基金の活用については、令和2年度の基金残高1億2000万円の見込みを令和3年度から5年度の3か年で6000万円の基金を取り崩す案がよいと判断、税率の設定では、最終的に県内市町の保険税率の平均近く、低所得者から中間所得層の上昇額を抑えたケースの検討をされ、これに基づき税率改正の試算結果の説明を受けました。

基金の取崩しで6000万円投入を前提にした試算が出されているが、この改定を見送って、次年度に動向を確認するという選択肢はないのか。

Q 基金の取崩しで6000万円投入を前提にした試算が出されているが、この改定を見送って、次年度に動向を確認するという選択肢はないのか。

A 令和3年度からの税率改正を行わず1年先送りすると、今検討しているものよりさらに大幅に上げないといけない状況になります。

2. 佐々町廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部改正

新たにリサイクル用ごみ袋の小さい袋を単価20円で設定を考えているということ。

3. 第7次総合計画の基本構想について

現在総合計画審議会において審議を進めており、総合計画の構成は、頂点に基本構想及び人口ビジョンがあり、その下に実行計画、総合戦略となっている。基本構想を

10年間及び総合戦略を前期、後期それぞれ5年間の行政評価等により毎年

基本構想では、町の将来像として、「暮らし豊かな輝き、みんなでつくる町」として、また、人口ビジョンについては、令和42年度、2060年に1万1858人を目指すとしているとの計画案の内容説明を受けた。

し尿等前処理施設の完成が令和5年度末の予定であり、現在の処理の間委託期間が令和2年度までとなっているので、今後3年間の委託延長をお願いしたいとのこと。

4. し尿・ごみ処理について

クリンセンターの次年度以降の運転については、現在の運転業務委託を令和6年度までの4年

間行いたいと考えているとのこと。

5. 佐々町消防詰所個別計画と今後の方針について

第1分団、第4分団、第5分団、第7分団の詰所建て替えを予定しているとの説明を受けた。

6. 介護保険について

現在令和3年から5年までの3年間の第8期介護保険事業計画の策定をしているところであり、被保険者数は増加、給付についても3年間の給付見込みを約36億円程度見込んでいます。保険料の基準額では、基金の取崩しをしない場合は、月額6528円、基金を1億1000万円ほど取崩すとしたら月額5761円というところで、現在の7期と同程度とするためには、多くの基金を取り崩すことになるのではないかと考えた途中経過での

【その他報告】

①選挙運動の公費負担に関する条例施行規程について

②新生児特別定額給付金事業について

③町制80周年記念について

④旧町立診療所跡地の汚泥撤去処分について

⑤町制施行80周年記念、佐々町暮らしの便利帳発行について

⑥新型コロナウイルス禍におけるフレイル予防移動支援について

の6件の報告がありました。

産業建設文教委員会

所管事務調査

11月16日(月)

1. まちづくりについて

① 町道認定変更について

県道佐々鹿町江迎線の志方樋門付近の改良により、県道と町道の接道起点が変更され、87メートルの延長と幅員変更が生じたため、議案を提出する旨の説明を受けた。

Q 幅員が狭い部分の道路改良計画は。

A 離合場所2か所を設けたが、現在は全面的な改良は、計画していません。

2. 水道事業について

① 下水道事業について

農業集落排水施設の下水管接続と処理施設の廃止、し尿等前処理施設の建設、平成9年度に供用開始した汚水管渠や中継ポンプ場の更新、浄化管理センターの設備更新、小浦ポンプ場の長寿命命

3. 観光、商工について

① 新型コロナウイルス感染症の影響に係る緊急対応・支援策について

化と耐震化計画、雨水管渠整備など、今後の全体的な計画と概算事業費について説明を受けた。

Q 小浦ポンプ場の耐震診断は、令和7年度に計画されているが、早く実施すべきでは。

A 今後、見直し検討いたします。

② 上水道事業について

浄水場設備の維持管理、送水管と配水管の更新、配水池とポンプ所の維持管理など、今後の計画と概算事業費の説明を受けた。

Q 非常用発電設備は平成5年度以降となっていないが、令和4年度までに計画できないのか。

A 施設整備工事と併せて行い、その間は非常用発電設備で対応します。

託、佐々駅舎改修工事設計委託などの報告を受けた。

町内事業者を支援し、更なる地域経済の活性化を行うため、プレミアム付商品券の第2次販売を行うとの報告を受けた。

4. 事業の進捗状況について

令和元年及び令和2年に被災した災害復旧工事、普通河川の整備工事の状況、更には西九州道4車線化に伴う設計業務委託、市瀬第2団地駐車場整備工事などについて、建設課より報告を受けた。

また、水道課より中央配水池進入道路築造工事に伴う排水管仮設工事、浄水場1号ろ過池設備更新工事、し尿等前処理施設設計業務委託などの報告を受けた。

産業経済課より、令和元年に被災した農業施設災害復旧工事、ため池ハザードマップ作成業務委

託、佐々駅舎改修工事設計委託などの報告を受けた。

教育委員会から、中学校部活動室等改修工事、小学校校内LAN配線改修工事、公共施設自動水洗化工事などの報告を受けた。

5. 条例等について

① 佐々町農業集落排水施設設置条例等改正について

角山地区及び志方地区の農業集落排水を公共下水道への接続工事に伴う改正・改廃の条例を12月議会に予定していたが、不測の事態が発生したため、1年先送りし、令和3年の12月議会に上程し、施行廃止を令和3年度末とするスケジュールについて、説明を受けた。

【その他報告】

① 債権管理条例について
② 里山林整備事業について など

新庁舎建設に関する調査特別委員会

● 第5回調査特別委員会 (9月28日)

① 第3回業務委託事業者選定委員会の結果報告について

9月11日に最終審査の採点を行い受注候補者として(株)遠藤克彦建築研究所、次点受注候補者として(株)隈研吾建築都市設計事務所に決定したとのことでした。併せて町内企業審査も実施し、設計事務所4事業者を共同企業体候補者として登載したとの説明を受けました。

6月までは、設計業務の工程表を詳しく立ててみたとのこと。
基本設計を進める上で、設計者と役場職員や町民のワークショップ(WS)を開催して設計を進めることとし、11月下旬を皮切りにWSは3回予定しており、4月下旬には基本設計のパブリックコメント・住民説明会を開催

● 第6回調査特別委員会 (11月13日)

① 設計業務スケジュール(案)について

基本設計は令和3年4月頃までで、実施設計が令和4年3月までとなっています。
また委員の任期の来年

計の最終段階では概算事業費の見積を実施するとの説明を受けました。

令和2年11月臨時会・12月定例会 賛否表

○は賛成 ×は反対

議案番号	議案件名	須藤敏規	浜野 亘	永田勝美	長谷川忠	阿部 豊	永安文男	橋本義雄	平田康範	淡田邦夫	川副善敬	評決数	結果
92	職員の給与に関する条例等の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
93	令和2年度 佐々町一般会計補正予算 (第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
94	佐々町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
95	佐々町国民健康保険税条例の一部改正の件	×	×	×	×	×	○	○	○	○		4対5	否決
96	道路認定変更に関する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
97	令和2年度 佐々町一般会計補正予算 (第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
98	令和2年度 佐々町国民健康保険特別会計 補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
99	令和2年度 佐々町介護保険特別会計補正 予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
100	令和2年度 佐々町後期高齢者医療特別会 計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
101	令和2年度 佐々町国民健康保険診療所特 別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
102	令和2年度 佐々町水道事業会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
103	令和2年度 佐々町公共下水道事業会計補 正予算(第3号)	×	○	×	○	×	○	欠	○	○		5対3	可決
104	名誉町民表彰につき同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	同意
105	佐々町国民健康保険税条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決

川副議長は採決に加わりません

※ 議案番号92～93号は11月臨時会、94号以下は12月定例会の採決結果です。

●平田 康範 議員 (一問一答)……………8

- ①水道の安定供給強化について
- ②職員の働き方の見直しについて

●長谷川 忠 議員 (一問一答)……………9

- ①佐々小学校・清峰高校周辺の防犯灯設置について
- ②全国的に第3波の新型コロナウイルス感染者の増加傾向に本町の考えは

●浜野 亘 議員 (一問一答)……………10

- ①新型コロナのPCR検査の医療機関名と検査について
- ②役場新庁舎の建設に係る駐車場の確保について

●永安 文男 議員 (一問一答)……………11

- ①重要課題に関するその後の検討対応について
- ②佐々町の将来のまちづくりについて
- ③町政継続のため町長の4期目を目指す考えはかにかに

●永田 勝美 議員 (一問一答)……………12

- ①町政の基本姿勢について
- ②新型コロナ対策について
- ③町内交通の整備について
- ④くらし・福祉の充実に向けて

●阿部 豊 議員 (一問一答)……………13

- ①3期12年を振り返り、町長の行政評価は如何に
- ②佐々町基本構想、広域行政のプランは如何に

●橋本 義雄 議員 (一問一答)……………14

- ①佐々川の農業用井堰について
- ②ため池の管理について
- ③町道、公園の管理について



古川岳よりの眺望 (令和3年1月4日)

議長よりお知らせ

一般質問については、新型コロナウイルス感染対策及び執行機関の軽減を図るため、質問者は持ち時間を40分(通常60分)とし、時間を短縮して行うことを全議員で申し合わせました。

◎一般質問の記事について

質問した議員が執筆したものです。

◎一般質問方法

【一括質問一括答弁】 議員が質問項目すべてを一括して質問。その後町側がその質問項目について一括して答弁を行います。

【一問一答方式】 文字どおり一つの質問項目ごとに町側から答弁を行います。

水道の安定供給に向けた取り組みは

安定供給に必要な対策と整備を進める

水道は町民の生活や社会経済活動において必要不可欠であり、災害時においても給水の継続や応急給水の対応が求められることから、浄水場整備など水道の安定供給強化についての考えを質した。



平田 康範



佐々町浄水場

■ 質 問
水道の安定供給強化に向けた基本的な方針は。

■ 町 長
水道施設は、耐用年数を経過した施設や、数年後に耐用年数に向える施設もあり、災害時の停電対応を含めハード・ソフト両面から整備を進め水道の安定供給の強化を進めます。

■ 質 問
近年は、線状降水帯が頻繁に発生し、記録的降雨量となっていることから、河岸氾濫に限らず、内水氾濫で施設敷地が浸水または冠水することも考えられる。
浄水場の扉は、防水扉にする必要があるのでは。

■ 町 長
長崎県で浸水想定区域図の見直しが行われており、佐々川も今年度中に作成されるとお聞きしています。

■ 質 問
今後、県が作成された資料を基に防水扉等も計画に反映させます。

■ 質 問
西九州させぼ広域都市圏ビジョンで災害時における総合応援体制の確立で、自治体が被災し、独自で災害応急対応が困難な場合は、水や食料等の物資提供、職員の派遣などについての応援体制が掲げられているが、具体的な取り組みなど協議がなされているのか。

■ 町 長
平成8年に佐世保市と町は、県北地区の防災相互応援協定を締結し、現在運用しています。

■ 質 問
広域都市圏の事業については、新型コロナ感染症予防の観点から、会議開催が厳しい状況にあり、本事業の会議も行われていない状況です。

町職員の働き方の見直しをすべきでは 職員数の見直しについて検討する時期

民間では時間外労働時間の上限規制など、法規制が施行されたこともあり、さまざまな取り組みがなされている一方、働き方改革を推進すべき行政自身の取り組みが進んでいないとの思いから、今後の方針を質した。

■ 町 長
現状における職員のマンパワーの不足、それから各課が抱えている問題、課題についてヒアリングを行い、職員数の見直しについて、検討する時期にきているのではと考えています。

■ 総務課長
有給休暇取得の促進を行いました。今年には特にコロナ対応で各課勤務時間数も伸びている状況です。

■ 質 問
風水害等で被害が出た箇所の現地確認は、職員が行わなければならないが、その後の倒木などの撤去をはじめとする初期復旧作業は民間事業者に依頼してはどうか。

■ 町 長
結果、職員は勤務時間内に本来の業務ができ、時間外労働の改善も図られると思うが。

■ 質 問
本町のような小さな自治体の規模では、職員の人員体制にも限界があります。

■ 町 長
災害発生時は、民間事業者と協定を結び連携し、専門的なものは、業者に任せ職員に危険が生じないように注意しながらやっていきたいと考えています。

佐々小学校・清峰高校周辺の防犯灯設置は

設置事業には町内会に補助金を出しています

各町内会で世帯数の大小により予算化できずに、防犯灯の設置を諦めている地区には町として補助金を加味してはいかがなものかと質問した。



長谷川 忠

■ 質問

佐々小学校・清峰高校周辺は、かなり暗さが見受けられます。特に小春橋から古川橋までの河川敷歩道は、下校時は大変暗く防犯灯の設置が必要と考えるが、町としては。

■ 町長

平成23年に本町は、町内会防犯灯の設置事業費補助金交付要綱を改正し、町内会が管理する防犯灯の設置や維持の費用については、補助を出している状況です。また、住民の方から要望を受けた際には、町内会に設置をお願いしてやりたいと考えています。



浄水場付近

■ 質問

口石小学校の運動場裏からメロディ橋までの歩道上も

防犯灯がなく暗いが、町内会より申請は出ていないのか。

■ 町長

本町も防犯灯設置事業の補助金要綱で実施している状況ですので、対象の現場が町内会の境界辺となることで、どちらかの町内会の設置・電気代等半分が発生するため、調整が必要となっています。その辺は、町としても調整をし防犯上において大変必要なところも沢山あるわけです。町内会とも話し合いをさせていただいて、考えていきたいと思っています。



メロディ橋から口石小付近

■ 質問

町内会の会計予算につながるので、防犯灯の設置を諦め

ておられる町内会があるのではないか。防犯防止にも明るく安心・安全な町づくりのために、防犯灯の設置の依頼がある地区には、町として予算化することはできないか。

■ 町長

今後、協議させていただき、町内会との話し合いをさせて貰いたいと思っています。

全国的に第3波の新型コロナウイルス感染者の増加傾向に本町の考えは

国県の動向を注視し、追加支援策実施

■ 質問

連日のニュースとして、新型コロナウイルス感染者増加の報道。本町も現時点において追加支援策による、第2次プレミアム商品券発行を臨時議会にて審議。補正予算とし可決。今後の追加支援の考えは。

■ 町長

今後の追加支援策は、町民の生活を守るべく、迅速かつ臨機応変に実施しなければならぬと考えています。

■ 質問

追加支援については、9月の定例会でも質問したが、全国的に医療現場が逼迫している。本町も医療機関に対して、8月にはマスク・消毒液・手袋・フェイスシールドなどの支給をされたが、第2次のな支援物資は、提供されていないのか。

■ 保険環境課長

前回の医療支援物資等が、調達出来ていない分の配布も全て、その後完了しております。また、補正予算で追加された支援物資も、医療機関へ尋ねましたが、今のところまだ緊急に必要としている物資はないとの事です。町としても物資のストックをしているので、必要な時はすぐに配る体制でやっています。

■ 質問

来春1月5日に成人式の式典を行うとのことだが、県内外の式典参加者にコロナ禍の中での対応は。

■ 教育長

成人式の開催は、現在のところ開催の予定です。しかし、今後の感染の推移に注視して行きながら判断したいと思っています。

新庁舎駐車場の確保は進めているのか

現在は駐車場の全体的な苦情はない
現時点では具体的に進んでいない

工事中の仮駐車場の確保はすべきと思うが

総務課を中心に関係課と検討していきたい



浜野 亘

文化会館前の駐車場に建設予定の役場新庁舎の設計業者が決まり、設計デザインが進んでいるが、文化・体育施設や学校行事など駐車場が2年間程使用できない。困る方が多いと思いい仮駐車場などの検討をされていきませんか？

■ 質問

用地買収や工事期間中の仮駐車場などの検討は進んでいるのか。

■ 町長

現時点では仮駐車場など具体的に進んでいません。

■ 質問

3月の所得申告時期でも駐車場の苦情はありません。建設費が安く利用し易い庁舎を望む方が多く、本町では車が不可欠なので施設は駐車場からの動線が重要と思うが。

■ 町長

問題点の整理の仕方については、担当課に指示しないといけないと思っています。

■ 質問

文化会館・町民体育館・地域交流センターでのイベントや中学校の行事など対策を取らなければ、施設は閉館状態になるのではないかと。

■ 町長

イベント開催時には幼稚園跡地を使用していたりとか思っています。総務課を中心に関係課で話し合いたい。

■ 質問

50〜60年に一度の庁舎建設をするからには、今より利便性が向上しないとイケない。

■ 町長

良い文化会館周辺の適地を売買または借地の相談をしてはどうか。



役場周辺

PCR検査の医療機関名を公表しても問題ないと思うが

医療機関へ殺到、混雑が予想され公表はされていない

佐々町は県北保健所の管轄であるが、「受診・相談センター」は県内1カ所に統合された。年末の帰省などで不安に感じられるし、新型コロナウイルスのPCR検査の場所や検査の方法など公表されていないので、町民の皆様が少しでも安心感を持つていただくためにもお知らせすべきと思いい質問した。

■ 質問

新型コロナウイルス感染が疑わしい場合など心配なので、PCR検査医療機関を教えてくださいませんか。

■ 町長

医療機関へ殺到、混雑が予想され、風評被害防止のため公表されていません。

■ 質問

PCR検査において東京など都会では公表されており、安心できる所があるが。

■ 町長

本県では無症状の方は自由診療扱いになり、2〜3万円程度かかります。

■ 質問

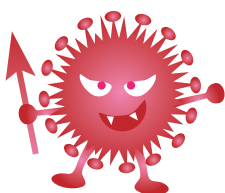
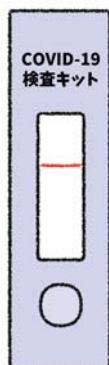
新型コロナウイルス感染症に不安がある方は無料で検査が出来るようにできないか。

■ 町長

県にPCR検査していただければ良いのですが、厳しいのではないかと考えています。

■ 保険環境課長

医療行為の位置づけになっており、医師に協力いただけないと検査出来ません。



重要課題に関するその後の検討は



永安文男

今までの一般質問において、「検討する」とされた4大事業の関係と、サン・ビレッジさざ横の未利用地活用関係、道路網計画策定後の道路整備についてその検討結果を質した。

■ **質問**
し尿等前処理施設事業のスケジュールは。

■ **町長**

し尿の方は令和2年度に認可申請を終え、現在基本設計と実施設計を実施、令和3年度から建設工事を行い、6年度から供用開始を予定しています。

■ **質問**

地元説明会の折、環境整備を要望されたが、その後は。

■ **町長**

今検討している最中であり、地元住民の環境を守る努力をしなければならぬと思っています。

■ **質問**

給食センターは令和4年度供用開始の計画であったが、遅れている。

用地の検討はどこまで進んでいるのか。

■ **町長**

早急に取り組む事業と考えてはいますが、4事業の並行は財政的に厳しい。場所については現在慎重に検討を進めています。

■ **質問**

サン・ビレッジさざ横の町有地の一角での検討は。

■ **教育長**

再度、町有地を対象に検討しています。その場所も対象と考えているところです。

■ **質問**

道路計画策定後の具体的な路線ごとの整備はどうか。

■ **町長**

中央海岸線のバイパス的な路線の検討及び町道の重要度と危険度の2つの指標により、整備が必要な優先度を検討しています。

第7次総合計画策定に係る町長の所信は

これからのまちづくりとしての総合計画策定が進められており、「住民が住んでよかった町」とするまちづくりの取組みに対し、その行政運営・政策の取り込みについて町長の所信を求めた。

■ **質問**

行政評価を取り入れ、成果重視の事業推進、財政収支の改善で持続可能な行政運営を行うとは。

■ **町長**

町の姿にどれだけ近づいたか、事業がどれだけ貢献したかを評価し、次の事業や企画に反映していく仕組みとして行政評価を取り入れたいと考えています。

■ **質問**

SDGsが原動力として地方創生を推進していく政策の積み上げはいかに。

■ **町長**

「誰一人取り残さない」とのSDGsの理念を踏まえてまちづくりを行うが、具体的な施策は現在検討中です。

※SDGs（エスディーゼイズ）とは
2015年9月に国連で決められた国際社会共通の持続可能な開発のための17の目標のこと。

■ **質問**

将来展望人口についての考え方は。

■ **町長**

1万4500人を目指したいとの私の思いはあるものの、人口問題研究所の将来的な人口予想を考え、人口の減少を少しでも低く抑えていきたいと考えています。

町政継続のため、4期目を目指す考えは

関係の皆さんと相談して今後を決めたい

■ **質問**

第7次総合計画の推進と多くの積み残しがあり、町政の継続が重要だと思うが、早めに考えを明らかにすべきではないか。

■ **町長**

4つの大型事業を控えており、これからの人口減少社会に入り、子育て支援・福祉の充実等事業課題をやっていかないとけない。

今は、まちづくりの取組みなどの仕事で手いっぱい、今後についてはどうするかまだ決めていません。

関係の皆さんと相談して決めたいと思っています。

国連「核兵器禁止条約」署名・批准を求めるべき

平和首長会議として活動していく

国連核兵器禁止条約は、批准国が50カ国を超え、2021年1月22日、法的拘束力をもつ国際法として発足します。被爆県の自治体として町長の姿勢を質した。



永田勝美

■ 質問

核兵器禁止条約は、第1条で、核兵器の開発、実験、製造、保有、使用、威嚇からすべての活動を違法と断じ、簡潔でありまじさを残さないものになっている。この内容は、核兵器の廃絶を願う、すべてのひとびとが立場の違いを超えて、賛同しうるものであると考える。町長はこの条約についてどう認識され、評価されるか。

佐々町も被爆県の自治体として、政府に対して、条約調印と批准を求めていく考えはないか。

■ 町長

佐々町も参加している平和市長会の会長である広島市長、副会長である長崎市長が政府に対して条約への署名と批准を求めています。県下では8自治体が政府への意見書を提出されており、議会のみなさんとともに世界の平和に寄与していきたいと考えております。

ジェンダー平等も障害する時間外労働は改善せよ

マンパワー不足も含め、職場づくりをすすめる

新型コロナ対策について

新型コロナについての、町民の要望が強い三点について質問しました。

① 交流センターにエアコン設置を求める

■ 質問

交流センターは避難所となっており、政府の制度資金活用もして設置を進めるべきだ。

■ 町長

可動式のエアコンを含め、財源確保の観点など十分検討させていただきたい。

② 少人数学級実現に向けた準備をすすめるべき

■ 質問

今回のコロナ対策の中でひとつの前進面として少人数学級の実現がある。最後まで要望を続けるとともに、人材確保・施設計画等万全の準備を進めることを求める。

■ 教育長

少人数学級は、コロナ対策三密防止にとどまらず、教師と児童生徒の関わりが深まる。全国市町村教育町会を通じて

重点要望としてあげていきたいと思っております。

③ PCR検査体制の拡充をはかれ

PCR検査は感染状況を見て研究していく

多目的の町内循環バス実現を

民間の利用客奪わないよう検討する

繰り返し質問してきた、「町内循環バス」の検討状況について質した。

■ 質問

町内循環バスについて、何回となく成功事例も含めて発言してきたが、まったく手が着いていない。タクシー券補助も改善がない。具体的なアクションを求める。

■ 町長

民間のバス運行に支障がない組立てが必要で、試験的に始めたフレイル対策をおして、幅を広げながらやっていきたいと思っています。

■ 質問

フレイル予防のタクシー予約システムと循環バスは別物であり、現状は検討されていないに等しい。

コロナ禍のいまこそくらし・福祉の充実を

町民のくらしが、可処分所得減少、消費税引き上げ、コロナ禍による減収の中で、くらしと福祉の応援が欠かせないとして、次の4点を質問した。

① 国保値上げは許されない苦渋の決断だ

■ 質問

県単位化に伴って心配していた国保税値上げ議案が出されている。現状に手をつけず、値上げをすすめることは許されない。当面据え置き、改善をはかるべきだ。

■ 町長

税率改正に異議を申されることは、十分理解しているが、厳しい財政が予測され、苦渋の決断と思っています。

② 保育所副食費の無償化、なぜできない

所得階層で減額したい

③ 介護保険は基金を還元して引き下げよ

基金の活用については3月議会に提案する

④ 給付型奨学金制度を拡充せよ

3期12年を振り返り町長の行政評価は如何に



阿部 豊

歴代町長のインフラ整備、補完して実施した福祉政策が功を奏しているのでは

■ 質問
少子高齢化の現代、諸課題は散見されるものの佐々町は微増ながら人口が増加している。町トップとしての政策が奏功しているか伺うと共に、課題解決のための提案を含めた質問を行った。

■ 質問
県内の殆どで人口減少しているが、本町は微増ながら増加。町長の施策の何が奏功しているのか。

■ 町長
今年に入り1万4千人を常時維持しています。年少人口及び40代人口も増加、若い方々の流入が多く、町の活性化等に繋がるのではと嬉しく思っています。人口増加要因、具体的には分からないが、西九州自動車道開通及び歴代町長の社会資本整備（図書館及び住環境整備）、その後、私が補完した福祉政策が要因となつていないかと考えています。今からも子育て支援の充実を考えています。

■ 質問
2000年介護保険スタート、本町の厳しい状況に際し、福祉政策にテコ入れを行い、マンパワーを増やされチーム力で改善した良好事例を実践されている。本町が抱える諸課題（老朽化した公施設維持等）も町長のテコ入れによりチーム力を発揮すれば解決するのは。

■ 町長
4大事業（し尿処理、ゴミ処理、給食センター、庁舎建設）、財政的な負担もあり、乗り越えていかねばならない。職員みみなで一致団結して行っていくきたいと肝に銘じています。



■ 質問
人口減少社会化において周辺自治体との連携は如何に

積極的に参加し行っていきたい

■ 質問
現状、周辺自治体との連携（広域保育等）を行い住民の福祉向上に繋げている。特に佐世保市との関わりが一番多い佐々町（火葬場、広域消防等）、民間でも様々な連携がみられる。アクセスを活かした積極的な連携提案を行うべきではと考え質問を行った。

■ 質問
佐世保市の旧北松の地域の方々には、佐々町はアクセスが良い。行政の連携により住民福祉の向上に繋がる提案を、本町が積極的に行うことにより、諸課題の解決に繋がるのでは。

■ 町長
本町の4割から5割の方の勤務先は佐世保市。近隣の

方々（佐世保市含め平戸市、松浦市）の買い物先に佐々町において頂いて、民間交流は盛んです。

西九州させば広域圏を形成させていたと思いますが、効率的に効果があるものについて積極的に参加し行っていきたいと考えています。



佐々川の農業用井堰は大事な施設 将来どう考える



橋本 義雄

水利組合、関係者の意見を聞きながら進める

■ 質 問

佐々川には、5か所のラバー井堰があるが、どこの所有、管理なのか。

管理は関係者でされておられるが、所管はどのようにかかわっておられるのか教えてください。また井堰ができた時の決まり事などあれば示されたい。

■ 町 長

県での工事が完了し、その後水利組合に移管されたという事で所有者（財産）は水利組合という事で位置づけられています。

■ 質 問

井堰を立てたり、倒したりするときは、関係者と協議をしておられるのか、順番はあるのか、また、町民への知らせはされているのか。

■ 産業経済課長

今まで協議という形で進めたことはありません。

■ 質 問

住民に知らせをせずに井堰を倒すと大きな事故につながります。関係者や所管課で話し合いをしながら、住民にも知らせをするべきだと思いが。

■ 町 長

住民みなさんに増水のお知らせをし、徹底させます。



ラバー井堰

町有ため池の管理について

■ 質 問

町内には、数多くのため池があり、その管理は現在関係者で行っている。

しかしながら、関係者が少なくなり、放置されたため池もある。

近年、ため池関係の災害が

多く発生している。ため池ハザードマップ作成を委託されているが、それが作成された後、どうするのか。

■ 町 長

防災関係では、ため池機能というのは大変重要なところがございます。

今後は、十分皆さんと協議しながらやっていかなければならないと思っています。

町道・公園の維持 管理班の充実を

増やすのは難しい

■ 質 問

最近道路・公園の管理不足が目立つようです。

また住民サービスにおいても、要望してもなかなかできないということをよく聞きます。今後これをどうしていかれるのか。

■ 町 長

作業班、シルバー人材センター、それから民間委託を上手に使い分けしながらやって

いきます。

三天花祭りの菖蒲・桜のしっかりした管理を



皿山公園

西九州自動車道建設 促進要望活動

伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会（井元宏三会長・平戸市）では、西九州自動車道路の早期完成を要望するため、コロナ禍の第3波の初期段階でしたので上京して参りました。

今回はコロナ禍でありますので議会議員の参加人数の制限を行いながら、佐々町議会からは川副議長・浜野産業建設文教委員長が出席しました。この道路は福岡市から松浦市を經由して武雄市までの約150kmの区間について、国道204号の代替路線の機能も有しており、交流人口の増大・交通事故防止・経済活動の迅速化・広域救急医療・災害時の避難路などの整備効果があります。

昨年の11月18日～19日に長崎県選出の国會議員（北村誠吾衆議院議員、金子原二郎参議院議員、古賀友一郎参議院議員ほか）・佐賀県選出の国會議員の先生へ全線開通と早期完成の要望を行って参りました。

次に自民党本部を訪問し、佐藤勉総務会長、下村博文

政務調査会長、野田聖子副幹事長へ要望書の提出と意見交換を行いました。

また国土交通省並びに財務省を訪問して、国交省の宇野善昌道路局次長、財務省の太田充事務次官・角田隆主計局次長などへ要望書の提出と実情を話して参りました。

要望の内容

- ① 西九州道路関係予算の所要額の確保
- ② 伊万里道路の事業促進と早期完成（6・6km）
- ③ 伊万里松浦道路の事業促進と早期完成（6・9km）
- ④ 松浦佐々道路の事業促進と早期完成（19・1km）

議会日誌

〔11月〕

4日

4市1町西九州自動車道建設促進協議会要望活動（九州地方整備局）

5日

議会だより編集委員会

12日

議会だより編集委員会

13日

総務厚生委員会
新庁舎建設に関する調査特別委員会

16日

産業建設文教委員会

17日

議会運営委員会
臨時会（第5回）

18日

4市1町西九州自動車道建設促進協議会中央要望（衆議院、参議院議員会館、自民党本部、財務省、国土交通省）

19日

議会だより編集委員会

20日

総務厚生委員会

25日

長崎県町村議会議長会
第2回臨時総会
町村議会議長全国大会

〔12月〕

8日

議会運営委員会
議会だより編集委員会

15日

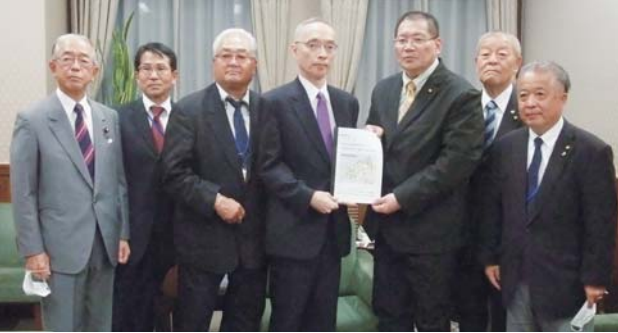
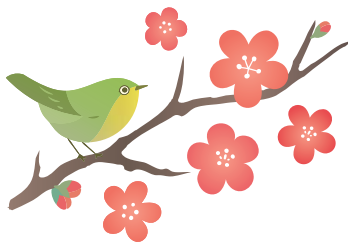
12月定例会（1日目）

16日

12月定例会（2日目）

17日

議会運営委員会
12月定例会（3日目）



井元会長から太田事務次官（中央）へ要望書を提出

質問に答えて (136号の用語解説)

前回12月1日発行の136号でお問い合わせいただきました3点のご質問にお答えします。

GIGAスクール構想とは (P7)

GIGA = Global and Innovation Gateway for All のことです。

児童・生徒に1人1台パソコン端末と、校内等に高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子ども達を誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現します。本町では令和3年4月から貸与するよう進めています。

PDCAサイクルとは (P11)

- ・ Plan (計画)
- ・ Do (実行)
- ・ Check (評価)
- ・ Action (改善) の頭文字をとっています。

PDCAを繰り返すことにより、生産管理や品質管理などの管理業務を継続的に改善していく手法のことです。

入札の2/3ルールについて (P12)

佐々町財務規則第68条では最低価格の入札者以外の者を落札者とする場合の規定があり、最低制限価格を設ける場合には、『予定価格の2/3を下らない範囲内において定めなければならない』と規定されています。

佐々町議会だよりはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

次回定例会の傍聴ご案内

3月を予定しています。日程については、広報無線、佐々町公式ホームページでお知らせします。

12月定例会の傍聴者数は9人でした。

町民の声を募集中!

TEL62-2101
FAX63-5398

議会だより編集委員会からのお願い



「佐々町議会」の腕章を着用した議会だより編集委員が、取材の折に写真撮影を行うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

議会傍聴アンケート募集

佐々町議会では、傍聴をされた方からご意見・ご要望をいただき、今後の議会運営に役立ててまいりたいと考えています。アンケート用紙につきましては、議場傍聴席入口に設置してありますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

令和2年は、新型コロナウイルスの感染拡大ということに経験したことのない状況に直面した年でした。生活様式は一変し、以前のような普通の生活は望めない、これからはどう生きていくのかなどのさまざまな事を考えさせられた一年でした。

コロナの収束を願いつつ迎えた令和3年、新年行事の成人式、消防出初式、新年祝賀会等すべての行事が中止という一年の始まりでした。

本町においては、今年も町制施行80周年迎える記念の年であります。また、第7次総合計画・基本構想が策定され、「住むならさざ」のまちづくりが始動致します。これからも笑顔あふれ、こころ健やかに過ごせる町づくりを私達も尚一層努力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。

永安 文男

印刷／有有限会社タイセイ印刷